

2019年
年末号 (通巻No.287)

ナンバーゼロ



INDEX
目次

- P2 かわさき市民公益活動助成金
2020年度申請団体募集
- P3 市民活動のキーワード
「ファンドレイジング」
こぶんたが行く
市民記者養成講座開講
- P4 2019年度ごえん楽市開催報告

かわさき市民公益活動助成金 2020年度は、ここが変わります



1 新しい助成メニュー「コラボ50」登場!

3人以上で構成される2つ以上の団体が行う事業を助成します。
助成額は、対象経費の80%以内かつ50万円以内。

2 申請書・報告書の様式変更

申請事業の計画(入口)から成果(出口)まで見渡せる様式に変更します。
事業終了後の到達点とともに、団体の現在地から将来展望までを考えてもらう項目を並べました。
新たな項目としては、「申請理由」「達成目標とその確認方法」「次年度以降のもくろみ」などがあります。

3 第2次審査(プレゼンテーション)が5月に!

今まで4月の報告会の翌週に行っていたプレゼンテーションは、5月中旬になります。2020年度は5月16日(土)、17日(日)の予定です。それを受け、審査結果送付は6月初旬、助成金の振込みは6月末になります。

募集の詳細は、2ページをご覧ください。

開催報告



2019年9月21日(土)、「ごえん楽市(かわさきボランティア・市民活動フェア)」が、かわさき市民活動センター・中原市民館全館で開催されました。日ごろ地域の課題に向き合う84団体が参加、発表や体験、相談などさまざまな企画で活動を紹介し、1,600名の来場者でにぎわいました。

開会式では、MPink
(エムピンク:ミュージカルプロジェクト in 神奈川)
による歌と踊りの披露がありました。

市民活動のエースを紹介
かわさき市民活動センターのホームページで連載中の「U-50(アンダー50)」(市内NPOで若手エースを紹介するコラム)とつなぐくど KAWASAKI(市内の多様な主体による協働・連携の取組を紹介するポータルサイト)で連載中の「まちのひろば探検隊」のパネル展示を実施しました。これまでに掲載された方たちとの交流タイムも開催され、活発な意見交換がなされました。

交流スペースの賑わいのようす
例年好評のフリーマーケットに加え、今回から、ランチ販売がパワーアップ交流に華が咲きました。

35団体が展示パネルを使って、自団体の活動を来場者に熱く紹介しました。

かわさきボランティア市民活動フェア

川崎の未来募集!
「こんなまちになったらいいな」川崎がどんな街になって欲しいか、アイデアを書いた付箋を来場者にボードに貼ってもらいました。

次回は2020年9月26日(土)開催です。出展募集は5月開始の予定です。みなさんの参加をお待ちしています。

予告

毎回好評

かわさき市民活動センターのボランティア市民活動のための「パワーアップセミナー」

日時:12月14日(土) 13:00~16:00

「絵と文字でビジョンを可視化する」
グラフィックレコーディング講座 中級編
会場:中原区社会福祉協議会
福祉パルなかはら研修室
講師:本園大介さん グラフィックコミュニケーター
共催:川崎市社会福祉協議会

日時:1月19日(日) 10:00~16:00

「1日でわかる! NPO法人の会計講座」(仮)
会場:かわさき市民活動センター会議室
講師:原淳子さん 原淳子税理士事務所
共催:川崎市

日時:2月1日(土) 13:30~16:30

「社会課題を見える化する」
システムコーチング体験」(仮)
会場:川崎市総合福祉センター
エボックなかはら会議室
講師:長浜洋二さん モジョコンサルティング代表
町田市地域活動サポートオフィス統括ディレクター
共催:川崎市社会福祉協議会

日時:2月22日(土) 13:30~16:30

「団体の世代交代」
(10/12開催予定分 台風19号で順延開催)
会場:かわさき市民活動センター会議室
講師:富永一夫さん 特定非営利活動法人
NPO フェージョン長池創設者

ご案内 MAP



ナンバーゼロ 2019年年末号(通巻No.287)
【編集・発行】
公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課
〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12
電話:044-430-5566 FAX:044-430-5577
メール:suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp
WEB:http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/

Facebookでも情報を発信しています。
<https://www.facebook.com/kcac.suisin/>

ポータルサイト「応援ナビかわさき」
<http://kawasaki.genki365.net/>

かわさき市民公益活動助成金 2020年度申請団体募集

この助成金は、市内で公益的な活動をするボランティア・市民活動団体の「事業」を資金面から支援することにより、団体運営の将来の自立・発展をめざしています。

※この制度は川崎市からの補助金(※)および公益財団法人河川財団からの助成金を原資としています。
(※)2020年度川崎市予算の成立を前提としています。



〈助成メニューと概要〉

名称	助成額	申込資格
スタートアップ助成	10万円以内	*3名以上で構成される発足後3年未満の団体(2020年4月1日現在)
募集期間	2020年1月17日(金)～2月28日(金) 当センター必着(最終日窓口提出は17時まで)	

(1団体1回だけ受給することができます。)

名称	助成額	申込資格
コラボ50	対象経費の80%以内 (上限50万円)	*3人以上で構成される2つ以上の団体が協働事業を実施するために結成したグループ *代表団体は市民活動団体とする *活動年数不問
募集期間	2020年1月17日(金)～2月28日(金) 当センター必着(最終日窓口提出は17時まで)	

(同一の事業では3回まで助成を受けることができます。但し毎回申請・審査が必要)

名称	助成額	申込資格
ステップアップ30	対象経費の80%以内 (上限30万円)	*スタートアップ助成を受給したことがあり、5人以上で構成される発足3年未満の団体
ステップアップ100(新規)	対象経費の80%以内 (上限100万円)	*5人以上で構成される概ね3年以上 (2020年4月1日現在)の活動実績を有する団体
ステップアップ200(新規)	対象経費の70%以内 (上限200万円)	
募集期間	2019年11月20日(水)～2020年1月16日(木) 当センター必着(最終日窓口提出は17時まで)	

※ステップアップ100・200の継続事業については、1月17日～2月28日に受け付けます。
(同一の事業ではステップアップ100、200を合わせて3回まで助成を受けることができます。但し毎回申請・審査が必要です。)

〈提出資料〉

- かわさき市民公益活動助成金申請書(第1号様式)
- 団体の規約・会則
- 団体の2018年度決算書および2019・2020年度予算書
- ※コラボ50については、係るすべての団体分の規約、決算書、予算書をご提出ください。

募集要項と申請書は当センターをはじめ、市内の区役所、市民館、図書館などの公共施設にあります。また、ホームページからダウンロードできます。詳細については、当センターにお越しいただくか、ホームページでご確認ください。

かわさき市民公益活動助成金は「団体の事業」を応援する助成金です

団体全体の運営と事業を分けて考えることが難しい、会計をどう分けるか、申請書にどう表現すればいいのかなど、申請書を書く前に、疑問点は事前相談で解決してください。

選考基準は?

- 審査にあたっては、次の項目に基づき、総合的に判断し選考します。
- ①事業目的の公益性
- ②事業内容の具体性
- ③事業の成果
- ④団体の自立性
- ⑤事業実施の実務的な能力

申請書類のみで審査します!(第一次審査)

- 申請書類以外のパンフレットなどの添付は認められていません。申請書類の書き方がポイントとなります。申請事業内容がうまく伝わるように工夫を!
- 第2次審査はプレゼンテーションです。(スタートアップ、コラボ50、ステップアップ100・200の継続事業は1次審査が免除されます)

事前相談があります!(要予約)

助成金の対象となる事業の見極め、助成金の基礎、申請書の書き方や対象経費の範囲など、助成金申請に係る各種相談に応じ、提出までをサポートしています。初めて申請する団体はなるべく事前相談をご利用ください。

申請書書き方教室(要申込)

日時: 12月22日(日) 1月26日(日)
各日10:00～12:00
会場: かわさき市民活動センター会議室

シリーズ

市民活動の キーワード

Vol.5

「ファンドレイジング」

NPO法人、公益法人、社会福祉法人、任意団体などの民間非営利団体が、自らの活動のための資金を個人、法人、行政、政府などから集める行為を総称して「ファンドレイジング」といいます。一般的には寄付に加え、会費、助成金、補助金などの支援的資金集めも含み、さらに広義では、民間非営利団体の財源獲得(事業収入、融資、社会的投資なども含む)を全体として総称する言葉として用いられます。狭義には、寄付金集めだけを指す場合もあります。主に民間非営利組織の資金集めについて使われる用語ですが、営利企業、投資家に関連する資金集めに使われる場合もあります。

そもそも民間非営利団体の活動は、団体単独で社会の問題解決に取り組むのではなく、その活動を通じて社会課題を人々に知らせ、関係者全員で社会をより良くしていくことに本質があると思います。「ファンドレイジング」を行う過程で、団体と人々がつながり、共感の輪が広がって寄付やボランティアといった支援者が増える、あるいは生活習慣や他人への態度を変えるということが、社会をそして未来をより良いものにするものだと思います。その意で「ファンドレイジング」は、その重要性を組織全体で理解し、団体全員で取り組む必要があるかと思われる。



英語でシェアドッグ ～英語を使った犬との ふれあい交流会～

9月28日、宮前区の野川こども文化センターにてNPO法人シェアドッグスクールの方を講師に招き、犬との触れ合いを通して命の温かさを感じることを目的とした「英語でシェアドッグ～英語を使った犬とのふれあい交流会～」を実施しました。

参加した子どもたちは、英語で「Head, Shoulders, Knees and Toes」を歌った後に、日本語で「あたま・かた・ひざ・ポン」を歌い、体の部位の名前を覚えました。テレビで聞いたことがあったり、幼稚園等で歌ったことのある子どもが多く、口ずさみながら元気よく踊っていました。その後、講師の方に英語を使って犬の体の部位のシールをもらいに行き、イラストを作りあげました。

犬と実際に触れ合う前に約束事として、道で犬に出会った時は、飼い主さんに「触っても良いですか?」と聞くこと。その後にしゃがんで手をグーにして臭いをかいでもらうこと。犬の顔の下から手を出してゆっくり触ること。という3点を教えていただきました。その約束を守りながら、体をなでたり散歩の練習をして楽しい時間を過ごしました。

今回、犬と触れ合う機会が少ない子どもたちの参加者が多く、このイベントを通して触れ合えることが出来たと喜んでいました。今後も継続してこのイベントを実施していきたいと思います。

当財団では今後も、様々な活動をされている地域の方々との交流を通して、子どもたちの健やかなこころの成長を見守っていきます。



わんちゃん
かわいらしい
かなー☆

※このふんたは、当財団が管理運営するこども文化センター52施設のキャラクターです。

予告

あなたの記事が市民活動を応援します!

文字で活動を伝える 市民記者養成講座

新聞の取材の仕方・記事の書き方の基本を学び、市民活動の体験取材を通して「聴く・伝える・書く」方法を身につけます。受講終了後は、神奈川新聞「市民発 地域をつくる人・活動」(毎週土曜連載)のボランティア市民記者として活動できます。あなたの書いた記事が新聞に掲載される活動です。

2020年1月15日～2月26日(全5回)
毎週水曜日 18:30より開講(2月19日を除く)

会場: かわさき市民活動センター会議室
定員: 20人(先着順)
参加費: 2,000円(初回にお支払いください)
対象: 原則として川崎市内在住・在勤・在学の市民活動に関心がある方で全5回の受講が可能の方
PCをお持ちの方でメールの送受信とWordの基本的操作が出来る方

NEWS

市内各区役所では、地域活動や市民活動を行う団体などが実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを区の事業として位置づけ、協働で実施しています。

「中原区市民提案型事業」募集

あなたの提案が地域の課題を解決する!
募集期間: 2019年12月20日まで
※初めて提案される団体は、事前にご相談ください。
問い合わせ: 中原区役所まちづくり推進部企画課 744-3149

「高津区市民提案型協働事業」募集

活動実績がなくても応募可能なトライアルコースを新設!
募集テーマ: フリー(高津区の地域課題の解決に資するもの)
募集期間: 2020年1月10日まで
問い合わせ: 高津区役所まちづくり推進部企画課 861-3131

「磨けば光る多摩事業」募集

多摩区役所にて説明会開催
説明会: 2020年1月16日 18時～19時(要電話連絡)
募集期間: 2020年1月16日～2月17日
問い合わせ: 多摩区役所まちづくり推進部企画課 935-3147